

令和6年度



# 中海小だより

令和6年8月



中海小学校 校長 若山 直代

8月6日、夏休み中の全校登校日が行われました。とても暑い日が予想され、熱中症の心配もありましたが、児童の約半数が学童へ下校し、あとの約半数は、車でのお迎えとスクールバスの利用とすることで、集合型の登校日を実施することができました。

子ども達は、久しぶりの登校で少し疲れた様子も見られましたが、久しぶりに先生や友達と顔を合わすことができ、とてもうれしそうでした。

保護者の皆様には、下校方法についてのアンケート等にご協力いただき、ありがとうございました。近年の気候変動やそれに伴う災害への備えのため、急な対応を取ることも予想されます。お子様の安全を確実に守るため、今後も緊急アンケート等への速やかなご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

## 8月は 「知る 気づく 考える」

例年、多くの学校で、8月に戦争や平和について考える機会をとっています。中海小学校も、8月の登校日に戦争や平和について考える学習を行ってきました。

今年は、コマニー株式会社の方々にお世話いただき、79年前から受け継がれた「原爆の火」を見ながら、平和について考えました。



日本に住む私達は、平和であることを当たり前のように感じています。しかし広島・長崎の原子爆弾の投下、そして戦争の終結から、わずか79年しかたっていません。そして79年でも、戦争のない状態が続いていることは、世界的にとってもまれなことなのです。

戦争や平和について知ることを通して、平和を守っていくことの大切さに気づき、今の自分にできることについて考えて欲しいと願っています。

子どもたちの感想より（抜粋）・・・書いてくれた感想から、ほんの一部抜き出しました

○かなしいことがあったよ。からだをたいせつにしてね。(1年生)

○げんしばくだんがおちて、こわかったし、ひこうきもばくだんでこわされたし、ひともえちゃったし、かわいそうだった(1年生)

○79年前のげんしばくだんで、小松の人々より多くの方がしんでしまってかわいそうだったけど、今はへいわでよかったと思いました。(2年生)

○平和でくらすことは、とてもすごいことなんだと知りました。ごはんを食べたり、ねたりすることも、すごいことなんだということに気づくことができました。(2年生)

○当たり前のことを当たり前にするとうちでいられると思います。たとえば、あいさつや友だちを助けたりすることです。(3年生)

○日本の戦争は終わったけど、外国の戦争もやめてほしいと思った。これからは平和に暮らせたらいいな。(3年生)

○にくしみや、いかりという感情を水に流すという言葉聞いて、たしかに、そうしたら戦争にならないなと思いました。平和はとても大切なものだと思いました。(4年生)

○福岡県にある火は、山本さんの「もう戦争をおこさないように」という思いがこもった火に感じました。今日、お家でも平和について話してみようと思います。(4年生)

○「平和の火」は手元になくても、一人一人の心の中で一生ともしたままでいたいと思いました。広島・長崎のことを世界中の人に知ってもらい忘れないで欲しいです(5年生)

○友達との口げんかやなぐり合いも「小さな戦争」なのかなと思いました。平和は当たり前じゃないけど、当たり前になるといいなと思いました。(5年生)

○争いは、にくしみとうらみで起こるから、争いはすぐに終わることができないということが分かりました。これからは毎日平和なことに感謝しようと思いました。(6年生)

○一人一人の気持ちや行動で、平和になるのか、平和でなくなるのかが決まるので、まずは自分の気持ちや行動を見直そうと思いました。(6年生)

それぞれの子供たちが、自分が知ったことで感情を揺り動かされ、平和について、自分なりに考えていることが伝わってきます。

コマニー株式会社の方々からも、「子供達と一緒に平和について考えたい」という熱い思いが伝わってきました。一つの灯を囲んで、良い学びの時間を頂けたことに深く感謝申し上げます。

